

2024 年 12 月

各位

P S ジャパン株式会社

マスバランス方式によるバイオマス割当ポリスチレンの採用
～ヤクルト類等で使用されるポリスチレン容器の一部原料に～

P S ジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：顕谷 一平）は、このたび、株式会社ヤクルト本社（ヤクルト本社）（本社：東京都港区、代表取締役社長：成田 裕）が販売しているヤクルト類等で使用されるポリスチレン（PS）容器の一部原料として、弊社の ISCC PLUS 認証^{※1}に基づくマスバランス方式^{※2}によるバイオマス割当 PS（バイオマス PS）が採用されたことをお知らせします。

ヤクルト本社は、2021 年に「ヤクルトグループ環境ビジョン」を策定しました。実効性のある取り組みを推進するため、合わせて「環境目標 2030」とそれを達成するための「環境アクション（2021-2024）」を策定し、「容器包装の素材変更により環境負荷を低減」、「容器包装に植物由来の環境にやさしい素材を使用」する取り組みを推進しています。

弊社は、バイオマス原料の供給を担う両親会社（旭化成・出光興産）の強固なサプライチェーンを有し、サステナブル（持続可能）な社会の実現に貢献するべく、バイオマス PS の展開並びにリサイクルの取り組みに注力しています。

今回、ヤクルト本社の「環境アクション（2021-2024）」の一つの取り組みとして、プラスチック容器包装の一部に弊社のバイオマス PS が採用されるはこびとなりました。

弊社では、引き続きバイオマス PS の認知度向上に努めますとともに、環境問題へ高い関心を持つお客様の共感を得ながら、普及に向けた取り組みを進めてまいります。

※1 ISCC（International Sustainability and Carbon Certification）認証とは、持続可能性および炭素に関する国際認証であり、その中で ISCC PLUS は全世界に販売される主にバイオマスベースや再生由来などの原料や製品について、サプライチェーン上で管理・担保する認証制度です。

※2 マスバランス方式とは、複数の種類の原料（例：バイオマス原料と化石燃料由来の原料など）により製品を製造した際に、特定の材料（例：バイオマス原料など）の投入量に応じ、製品の一部にその特性全てを割り当てる方式で、ISCC PLUS 認証で採用されている管理方式です。

<ご参考>

P S ジャパン株式会社の概要

本社 : 東京都文京区小石川一丁目4 - 1

社長 : 顕谷 一平

株主 : 旭化成株式会社 62.07%、出光興産株式会社 37.93%

資本金 : 50 億円

売上高 : 約 640 億円 (2023 年度)

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

P S ジャパン株式会社 営業部

T E L : 03-5689-6565